

# 【週刊タバコの正体】

Vol.48 第4話～第6話

2021年02月

和歌山工業高校 奥田恭久

## ■Vol. 48

(No. 655) 第4話 禁煙支援

－イオングループは従業員に就業45分前から喫煙を禁止する...

### イオン従業員 出勤45分前から喫煙禁止に

1月25日配信 日テレNEWS 24から

イオンは国内のほぼすべての従業員に対し、勤務中だけでなく出勤の45分前から喫煙を禁止することを決めました。イオンは、勤務時間中を禁煙にするほか、出勤前や休憩から職場に戻る前の45分間もたばこを吸うことを禁止にします。これは、たばこを吸い終わった後でも喫煙者の息や、髪の毛、衣服などからたばこの成分が出続ける「三次喫煙」によって周囲の人に影響を及ぼすとされているためです。敷地内での喫煙も禁じられているため、1時間の休憩時間内にたばこを吸うことは事実上、難しくなります。来月末までにイオン・グループの全従業員の9割にあたる45万人が対象になるということです。イオンでは、従業員の禁煙を支援するため通院治療費の補助や啓発プログラムの実施などを検討しているということです。

つい先日、上の記事がインターネットで配信されていました。現在、記事に出ているイオンに限らず勤務中の喫煙を禁止している企業は増えていきます。2020年2月に帝国データバンクが約1万社に対して行った「企業における喫煙に関する意識調査」によるとグラフのように、26%の企業が全面禁煙を実施しています。つまり1万社のうち2600社以上が全面禁煙なのです。

(No. 656) 第5話 非常事態

－数値だけを見ればタバコの健康被害も「非常事態」...

タバコには5300種類以上の化学物質と70種類以上の発ガン物質が含まれていて、さまざまな病気の原因になる事が分かっています。だから、左図のように年間13万人もの人が喫煙によって亡くなっていると言われていきます。また死亡に至らなくても認知症になるリスクが2～3倍になるそうです。そして、下図のように喫煙者本人だけではなく受動喫煙の被害をうけて1万5千人が亡くなっているとされています。このように、喫煙が原因で亡くなる人は年間約15万人におよび、毎日400人以上が亡くなっている計算になります。毎日400人も命が奪われ続けている状況は非常事態と言えないでしょうか。タバコが日常的なモノであってはいけなないと思いませんか。

(No. 657) 第6話 火の用心

－タバコの火は令和元年火事の原因の第一位...

タバコの煙を吸い込むと健康を害することは繰り返し伝えていますが、じつはタバコがもたらす社会的損失はそれだけではありません。

左のグラフを見てください。消防庁の発表による令和元年度の出火原因の第1位がタバコの火なのです。喫煙や受動喫煙で病気になるまでには何年もかかりますが、タバコの火は、家屋や設備など短時間で焼きつくしてしまいます。そして、人命も犠牲になっています。下のグラフにあるように東京都内でタバコが原因の火事で亡くなる人が増加傾向にあり、そのうち「寝たタバコ」が疑われる事例も多いのです。そこで、火の着いたタバコを布団の上に置くとどうなるのか見てみましょう。下の写真のように30分...

## Serial number 655 第4話 週刊 タバコの正体

イオン従業員 出勤45分前から喫煙禁止に

1月25日配信 日テレNEWS 24から  
イオンは国内のほぼすべての従業員に対し、勤務中だけでなく出勤の45分前から喫煙を禁止することを決めました。イオンは、勤務時間中を禁煙にするほか、出勤前や休憩から職場に戻る前の45分間もたばこを吸うことを禁止にします。これは、たばこを吸い終わった後でも喫煙者の息や、髪の毛、衣服などからたばこの成分が出続ける「三次喫煙」によって周囲の人に影響を及ぼすとされているためです。敷地内での喫煙も禁じられているため、1時間の休憩時間内にたばこを吸うことは事実上、難しくなります。来月末までにイオン・グループの全従業員の9割にあたる45万人が対象になるということです。イオンでは、従業員の禁煙を支援するため通院治療費の補助や啓発プログラムの実施などを検討しているということです。

### 主要事業所における喫煙状況



つい先日、上の記事がインターネットで配信されていました。現在、記事に出ているイオンに限らず勤務中の喫煙を禁止している企業は増えていきます。2020年2月に帝国データバンクが約1万社に対して行った「企業における喫煙に関する意識調査」によるとグラフのように、26%の企業が全面禁煙を実施しています。つまり1万社のうち2600社以上が全面禁煙なのです。



このように禁煙に取り組む企業が増えているのは、従業員の健康を重視するようになってきているからです。左のポスターはニュースに登場したイオングループの健康保険組合が作成したのですが、「イオンは希望したいあなたを全力でサポートします」と宣言しています。

「タバコを吸ってはいけません」だけではなく「禁煙できるよう支援します」という企業が増えています。

産業デザイン科 奥田 恭久



## Serial number 657 第6話 週刊 タバコの正体

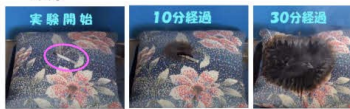
### 出火原因はたばこが第1位!



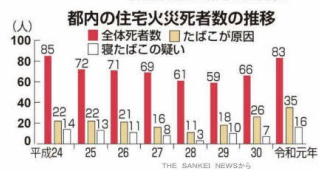
タバコの煙を吸い込むと健康を害することは繰り返し伝えていますが、じつはタバコがもたらす社会的損失はそれだけではなくあります。

左のグラフを見てください。消防庁の発表による令和元年度の出火原因の第1位がタバコの火なのです。喫煙や受動喫煙で病気になるまでには何年もかかりますが、タバコの火は、家屋や設備など短時間で焼きつくしてしまいます。

そして、人命も犠牲になっています。下のグラフにあるように東京都内でタバコが原因の火事で亡くなる人が増加傾向にあり、そのうち「寝たタバコ」が疑われる事例も多いのです。そこで、火の着いたタバコを布団の上に置くとどうなるのか見てみましょう。下の写真のように30分たっても焦げ続けるだけで灰をあげて燃えません。この状態は「無煙燃焼」と呼ばれ、灰は出ませんが一酸化炭素が多量に発生します。



じつは、一酸化炭素を大量に吸い込むと意識がなくなり命を落とす「一酸化炭素中毒」に陥ります。つまり灰があがるまで死亡してしまう可能性もあるのです。



いっけがしようか、タバコは火気を取扱う上での「危険物」だと言えませんが、タバコにも「火の用心」が必要です。

産業デザイン科 奥田 恭久



毎週火曜日発行



URL: [https://www.jascs.jp/truth\\_of\\_tabacco/truth\\_of\\_tabacco\\_index.html](https://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_index.html)

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。  
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。  
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

